



一本道

山田小学校通信No.9

令和8年6月25日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を ～1日1ミリ～」

1 学校から地域へ「とび出せ町の探検隊」

6月19日、2年生が学校から地域へ飛び出して学びました。国語と生活科の横断的な学びです。单元名は「とび出せ町の探検隊」です。ワクワクする素敵な名前です。子供たちは3班に分かれ、地域ボランティアの皆さんの協力を得て、各班3か所を探検しました。下の写真は、大王神社で、地域の指導者の方から参拝の仕方を習い、お参りしている様子です。指導者からの「何ってお願いしたの？」の質問に、ある子どもが「『僕たちを守ってください。』」とお願いしました。」と答えていました。ほっこりするお願いでした。



子供たちが探検した場所は次の通りです。

- 1班「稻留商店」「山江郵便局」「山江村駐在所」
- 2班「えほんの森」「大王神社」「鯉の池」
- 3班「マロンテレビ」「イチョウの木」「高寺院」

学校をとび出しての学びは、教室での学びの2倍の効果があります。地域の皆様、各場所で、子供たちに説明や質問対応していただき、本当にありがとうございました。

2 地域から学校へ、授業で専門家から学ぶ機会

6月18日、2年生はJAの方から「野菜の育て方」を学びました。カボチャの種を一人に一粒ずつ配られ、命を育てるコツを教えてくださいました。また、6年生は役場の税務課の方から「租税教室」として、社会を支える税の仕組みについて教えてい

ただきました。最後は子供たちが1億円のアタッシュケースを満面の笑みで持ち、重みを実感していました。また、6月17日は、婦人会7名の皆様に来ていただき、5年生の裁縫の支援をしていただきました。子供4人に一人の支援で、全員が3種類の縫い方を行うことができました。

このように、学校に地域や村行政の方等に来ていただいて、子供たちの学びへの支援をしていただいています。とってもありがたいことです。授業で専門家から学ぶ機会は、子供たちにとって、大きな刺激であり、大きな学びになっています。ありがとうございます。



3 AIプロンプト、先生たちの業務改善の一役に！

6月上旬、本校のICT支援員の村先生が、「先生たちの業務がより効率的になるように、AIプロンプト作成ツールを作ろう」と思っています。どうでしょうか？」と相談に来ました。「ぜひ、お願いします。」と伝え、楽しみにしていました。数日後、試作品が出来上がり、説明を受けました。「これは、使いやすいし、先生たちの業務改善になる。」と実感し、6月16日、「先生のためのAIプロンプト作成ツール」の研修を行いました。

これから数年でAIは大きく進歩します。我々人間も、変化する環境に合わせて工夫し、変わり続けることが大切だと感じる今日この頃です。

